

令和 5 年 度 事 業 報 告

(令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 3 1 日まで)

I 当法人の概況

1 役員等に関する事項

(1) 理事及び監事に関する事項

理 事

定 数 9 人以上 13 人以内 (会長、副会長及び専務理事を含む)

任 期 選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤 1 人、非常勤 9 人、計 10 人

監 事

定 数 2 人

任 期 選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤 2 人、計 2 人

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

職 名	氏 名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
会 長	竹谷 千里	R 5 . 6 . 26～ 令和 7 年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北翔大学 専務理事
副会長	山谷敬三郎	〃	〃	〃	北翔大学 学長
理 事	小泉 寧	〃	〃	〃	北海道中学校長会 対策部幹事
〃	松浦 宣仁	〃	〃	〃	北海道 P T A 連合会 事務局長
〃	中畑 雅幸	〃	〃	〃	北海道商工会連合会 事務局等
〃	木寄 美和	〃	〃	〃	北海道新聞社 編集局くらし報道部長
〃	山田 園子	〃	〃	〃	新得町子ども会 理事

職 名	氏 名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
理 事	早川日出利	R 5 . 6 . 26～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	苫前町 子ども育成連絡協議会 会長
〃	新井田 寛	〃	〃	〃	札幌市 中央区青少年育成委員会 連絡協議会 議長
専務理事	東田 俊和	〃	常勤	〃	北海道青少年育成協会 事務局長
監 事	川村美栄子	R 4 . 6 . 21～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	〃	税理士
〃	酒元 辰也	R 3 . 6 . 18～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道歴史文化財団 代表理事

(2) 評議員に関する事項

定 数 9人以上13人以内

任 期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会
の終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤9人、計9人

(令和6年3月31日現在)

職 名	氏 名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	大浦 充	R 4 . 6 . 21～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道高等学校長協会
〃	田邊 芳明	R 5 . 6 . 26～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道小学校長会 事務局長
〃	出井 浩義	R 3 . 6 . 18～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道市長会 事務局長
〃	山内 康弘	〃	〃	〃	北海道町村会 事務局長
〃	木村 謙治	〃	〃	〃	北海道子ども会育成連合会 常務理事兼事務局長

職 名	氏 名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	野内 吉徳	R 5 . 6 . 26～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	日本ボーイスカウト 北海道連盟 常任理事
〃	中川 淳二	R 3 . 6 . 18～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道社会福祉協議会 常務理事
〃	時田 昭子	R 4 . 6 . 21～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道女性団体連絡協議会 常任理事
〃	大橋 俊忠	R 3 . 6 . 18～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道経済連合会 理事事務局長

2 賛助会員に関する事項

(令和6年3月31日現在)

種 類	前年度末	当年度末	増 減
普通賛助会員 個人	4 6 人	4 4 人	△ 2 人
普通賛助会員 青少年関係団体	5 1 団体	5 1 団体	0 団体
特別賛助会員	1 4 2 団体	1 4 3 団体	1 団体
合 計	2 3 9 人・団体	2 3 8 人・団体	△ 1 人・団体

3 職員に関する事項

現在数 5名

(令和6年3月31日現在)

役職	氏名	常勤・非常勤の別
事務局次長	沼田 祐司	常 勤
主 査	竹本 郁子	〃
主 査	福田 拓哉	〃
専門指導員	山田 聡	〃
非常勤嘱託	齋藤 博美	〃

Ⅱ 事業に関する事項

1 令和5年度事業の実施状況

別添のとおり

2 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	決議事項	結果
令和5年6月2日	① 令和4年度 事業報告について ② 令和4年度 決算について（監査報告） ③ 事務局長の任命について ④ 評議員会の開催及び目的である事項について	承認 承認 承認 承認
令和5年6月26日 （書面理事会）	① 会長の再任について ② 副会長の再任について ③ 専務理事の選任について	承認 承認 承認
令和6年3月22日	① 令和6年度 活動方針及び事業計画（案）について ② 令和6年度 予算（案）について ③ 令和6年度 資金調達及び設備投資の見込みについて ④ 令和6年度 資金管理運用執行方針及び計画（案）について ⑤ 諸規程の一部改正について	承認 承認 承認 承認 承認

(2) 評議員会

開催年月日	決議事項	結果
令和5年6月26日	① 令和4年度決算について（監査報告） ② 理事の選任について ③ 評議員の補充選任について	承認 承認 承認

(3) 基金管理運営委員会

開催年月日	内 容
令和5年8月2日	① 令和4年度 北海道青少年基金事業実績及び収支決算について ② 令和5年度 青少年及び青少年団体・グループ並びに 育成者・指導者顕彰の決定について ③ 令和5年度 北海道青少年基金運用益交付団体の決定について

3 所管庁への届出事項

届出年月日	届出事項
令和5年6月27日	令和4年度 事業状況報告等の提出
令和5年7月31日	理事・評議員変更の届出
令和6年3月25日	令和5年度 事業計画等の提出

4 行政機関から受けた監督上の処分又は指導に関する事項

検査年月日	検査内容	処分または指導
令和5年4月14日	令和4年度補助金事業実績報告に係る現地調査（北海道保健福祉部）	なし
令和5年10月11日	法人の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査（道総務部）	なし

5 事業報告の付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当すると思われる事項は特になし。

Ⅱ－１．令和５年度事業の実施状況

少子高齢化や人口減少の進行は社会に大きな影響を及ぼし、我が国社会全体の根幹を揺るがしかねない危機的な状況にあります。コロナ禍により、子どもや若者、家庭を巡る様々な課題が深刻化する中で、誰一人取り残すことのない健やかな成長には、行政や関係機関・団体などによる切れ目のない包括的な支援が求められています。

このため、当協会では、すべての子どもの達が健やかで安全・安心に成長できるよう、北海道や関係機関・団体等と密接に連携し、コロナの５類移行後も地域の状況などを踏まえつつ、青少年の健全育成に向けた事業の推進に努めました。

令和５年度における事業の実施状況は、次のとおりです。

１ 青少年育成住民運動の促進

運動を効果的に推進するため、全道に青少年育成運動推進指導員を配置し、地域関係者との合同会議を開催するなどして、青少年育成運動についての共通理解を深め、関係団体の連携による地域ぐるみの運動の促進に努めた。

（１）北海道青少年育成運動推進指導員の配置

○ 定 員 ２３８人

《配置の内訳》札幌市１０人、旭川市・函館市は各３人、小樽市・苫小牧市・帯広市・釧路市は各２人、その他の市及び町村各１人、（総合）振興局（青少年指導員、青年代表）、教育局（社会教育主事）各１人

○ 活 動

- ア 青少年育成運動（地域行事・活動に参加）
- イ 地域団体等の事業を実施
- ウ 非行防止、環境浄化（巡回パトロールなど）
- エ 行政との連携（市町村行事等に参加）
- オ 当協会の事業推進（住民への情報提供等）

（２）青少年育成地域合同会議の開催（北海道との共催）

青少年育成運動推進指導員や市町村青少年行政担当者、青少年育成団体関係者等が出席して、（総合）振興局毎に道内１４箇所で開催した。

○ 期 日 令和５年５月１５日（月）～７月４日（火）

○ 参加者 ３９６名（総計）

○ 内 容

- ア 北海道の青少年育成施策の推進について
- イ 育成協会の活動方針及び事業計画について
- ウ 道内の少年非行の概況について
- エ 教育行政に関する情報提供
- オ 意見交換など



▲管内関係者による地域合同会議
（檜山振興局）

(3) 市町村民会議等の連携強化

地域の運動推進の中核である青少年育成市町村民会議等への啓発資材や機関誌等の配布により情報提供を行い、連携の強化や運動の支援を図った。

地域の活動事例として、市町村民会議の活動を当協会ホームページや機関誌で紹介した。

- ・帯広市青少年育成者連絡協議会 ～ ジュニアリーダー養成
- ・稚内市子ども安全育成センター ～ 子どもたちを犯罪や事故から守る

(4) 青少年育成地域懇話会の開催

青少年に関する諸問題について、学識経験者と地域の活動指導者等による懇話会を市町村民会議との共催で開催した。

選定したテーマに沿った講話と参加者による意見交換を通して、地域の現状や課題解決への取組等について、共通理解を深めた。

新十津川町 [共催：新十津川町青少年健全育成町民会議、新十津川町教育委員会]

- 期 日 令和5年11月14日(火)
- 場 所 新十津川町総合健康福祉センター
- テーマ 「ネット社会と子どもの成長」
～親、子どもたちに関わる大人たちみんなで考えよう～
- 参加者 地元青少年育成関係者 60名
- 内 容
 - ・講話：「ネット利用と子どもたちの望ましい生活習慣について」
～子どもの心とからだを育てるために大切なこと～
 - ・講師：子どもとメディア北海道 副代表 中谷 通恵 氏
 - ・意見交流テーマ：「ネット社会に生きる子どもたちに
親や大人がどのように接したらよいか？」
 - ・コーディネーター：北海道教育庁空知教育局教育支援課
社会教育指導班主査 是安 聡一郎 氏

美瑛町 [共催：美瑛町青少年健全育成協議会]

- 期 日 令和5年11月29日(水)
- 場 所 美瑛町町民センター
- 後 援 美瑛町教育委員会
- テーマ 「すべての子どもを地域で守り育てる予防教育」
- 参加者 地元青少年育成関係者 60名
- 内 容
 - ・講話：「“わたし”が“和足し”を育てるまち」
～時代のニーズにあわせた人づくり～
 - ・講師：美瑛町教育委員会管理課参事 目良 久美 氏
 - ・意見交流テーマ：「子どもを守り育てる地域コミュニティの重要性」
～青少年がいきいきと活動するためには～
 - ・コーディネーター：北海道教育庁上川教育局教育支援課
社会教育主事 石川 究 氏



▲地元関係者による意見交流
(美瑛町)

2 青少年を社会全体で育成・支援する環境づくりの推進

青少年の健全な育成について社会全体が取り組む環境づくりを進めるため、北海道青少年育成大会などを開催し、青少年問題についての共通理解を深めた。

(1) 北海道青少年育成大会の開催（北海道、国立青少年教育振興機構との共催）

全道の青少年育成関係者が一堂に会し、活動功労者の表彰、基調講演、活動発表や「少年の主張」全道大会を行い、青少年育成活動の一層の推進をアピールした。

- 日 時 令和5年9月8日(金)
- 開催場所 道民活動センター（かでの2・7）かでのホール
- 参加者 320名（関係者含む）
- 内 容

- ・ 令和5年度北海道社会貢献賞（青少年健全育成功労者）表彰式

受賞者：八戸 法昭 氏（札幌市）ほか9名

- ・ 令和5年度北海道青少年基金事業顕彰表彰式

受賞者：どさんこ青少年オーケストラ協会（札幌市）

- ・ 令和5年度「少年の主張」全道大会

審査結果発表及び表彰、最優秀賞及び優秀賞の発表
《最優秀賞》

受賞者：（上川代表）下川町立下川中学校
3年 三浦 かな さん

テーマ：「恨みを愛へ」

- ・ 基調講演

演 題：「一途一心の野球道」

講 師：審判応援団長（元NPB審判技術指導員）
山崎 夏生 氏

- ・ 活動発表

発表題：人と人のつながりが生み出す場
～弱く多様なつながりの価値～

発表者：厚真町教育委員会
生涯学習課主任 斉藤 烈 氏



▲「少年の主張」全道大会



▲基調講演の模様

大会終了後、「少年の主張」全道大会各地区代表者の発表を当協会ホームページで公開し広く情報発信したほか、北海道代表の三浦かなさんが全国大会に出場し、「審査委員会委員長賞」を受賞した。

(2) 青少年育成運動活性化研究協議会の開催

青少年育成運動推進指導員や青少年育成関係者、ボランティアの参集を得て開催した。

基調講演や分科会での研究協議や意見交換等を行い、直面する諸問題や地域での活動事例について学び、指導者層の育成など今後の地域活動の充実・強化に役立てることができた。

- 期 日 令和5年11月17日(金)

- 場 所 道民活動センター(かでの 2・7)大会議室ほか
- 参加者 北海道青少年育成運動推進指導員、関係機関・団体関係者、(総合)振興局・市町村関係職員、青少年補導員、更生保護関係者等 計 150 名
- 内 容

- ・ 基調講演

演 題：「子ども政策の課題と展望」

講 師：子ども家庭庁長官官房総務課 企画官 岩崎 林太郎 氏

- ・ 第 1 分科会

テーマ：「今こそ、地域活動をココでつなげる・広げる」

話題提供者：NPO法人ezorock コーディネーター

(社会教育士) 水谷 あゆみ 氏

コーディネーター：北海道教育庁生涯学習推進局

社会教育課主査 森 健太郎 氏



▲分科会でのグループ発表

- ・ 第 2 分科会

テーマ：「防災の知恵を学び、子ども達を守る」～心と身体と環境と～

話題提供者：厚真町教育委員会生涯学習課主任 斉藤 烈 氏

コーディネーター：北海道教育庁胆振教育局教育支援課

社会教育主事 畑中 久弥 氏

- ・ 第 3 分科会

テーマ：「ヤングケアラーの実態を知り、私たちはどうすれば」

話題提供者：北海道ヤングケアラー相談サポートセンター

センター長 加藤 高一郎 氏

コーディネーター：北海道教育庁石狩教育局教育支援課

社会教育主事 佐藤 拓史 氏

(3) 明るい家庭づくり道民運動の推進

様々な啓発資料等の配布、「家族ふれあい優待制度」の広報や絵画コンクールの実施などにより、平成12年度に制定した「道民家庭の日（毎月第3日曜）」の普及啓発に努め、全ての道民が青少年を支え、育む社会環境づくりを進めた。

- 「道民家庭の日」の普及啓発（北海道と共催）

- ・ 道民家庭の日のイメージキャラクター『ほーほーくん』も参加して、道と共催の街頭啓発を札幌駅コンコースで行った。（令和5年4月～6年3月の第3金曜日）
- ・ 北海道開拓の村での児童写生会や、北海道矯正展のイベントに参加し、親子連れや来場者と『ほーほーくん』がふれあうなど、啓発活動を行った。

（児童写生会：令和5年7月8日 場所：北海道開拓の村）

（北海道矯正展：令和5年10月15日 場所：サッポロファクトリー）

- ・ 道内の市町村や小・中学校、児童館、関係機関・団体等にリーフレット等を配付した他、各事業やイベント等で活用した。

〔 啓発リーフレット(60,000部)、2024年カレンダー(4,000部)、メモ帳(2,400冊)、自由帳(2,200冊)、ゴム風船(2,000個)、ポケットティッシュ(17,000個)など 〕



▲札幌駅での街頭啓発活動

○ 家族ふれあい優待制度の普及促進

道民家庭の日に特別価格等でのサービスを提供していただく「家族ふれあい優待制度」の啓発資料の配付や振興局、市町村、推進指導員からの情報提供、街頭啓発などPRに努め、ウポポイ等が新たに協賛店に加入した施設もあり、協賛店数は、横ばいとなった。

《協賛店・施設》

ホテル・旅館、飲食店、博物館・水族館、テーマパーク、果樹園、ボウリング場、スーパーマーケット・商店、キャンプ場等

計 320ヶ所（前年度 320ヶ所）

○ 「道民家庭の日」絵画コンクール2023の実施

全道の小・中学校児童生徒からの応募作品を審査し、入選作品を決定して表彰するとともに、入賞作品展を開催した。【応募総数：71校／300点】

《最優秀賞》

小学生の部

受賞者：帯広市立柏小学校5年 村山 夕樹乃 さん
題 名：「バラ園でピクニック」

中学生の部

受賞者：北斗市立浜分中学校2年 菊池 美穂 さん
題 名：「みて、みて、泳いでるっしょっ！」



▲小学生の部 最優秀賞



▲中学生の部 最優秀賞

（以下、各部門毎に入選作品を決定）

- ・優秀賞 各1点 ・特別賞（キューピー賞）各1点
- ・優良賞 各3点 ・佳作 24点 ・学校賞 3校

○ 絵画コンクール入賞作品展の開催

- ・札幌駅前通地下広場（チ・カ・ホ）

（実施日：令和5年11月4日 入場者数：402名）

- ・（総合）振興局庁舎等での巡回展示

期 間：令和5年12月1日～令和6年3月1日

開催地：オホーツク、上川、十勝、渡島、後志、

宗谷、胆振、空知の8（総合）振興局

- ・北海道新聞社が発行する「さっぽろ10区（トーク）」に「道民家庭の日」絵画コンクール2023入賞作品展（チ・カ・ホ）の開催予告を掲載した。



▲絵画コンクール入賞作品展
（チ・カ・ホ）

(4) 青少年を非行・被害から守る環境づくりの推進

7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」(国)及び「青少年の非行防止道民総ぐるみ運動強調月間」(道)、11月の「秋のこどもまんなか月間」(国)の一環として関係団体と街頭啓発活動を実施した。

○ 街頭啓発活動

啓発資材として「道民家庭の日」ポケットティッシュを各(総合)振興局に配付し、非行防止活動の推進に努めた。(配付部数) 10,000 個

また、関連事業と連動させながら、非行防止のための諸活動を推進した。

① 「夏・冬の暴力追放運動」街頭啓発の実施(共催:北海道暴力追放センター)

北海道暴力追放センターが主催する街頭啓発活動に参加した。

・日 時: 令和5年7月、8月及び12月 計4回

・実施場所: 地下鉄駅前等(札幌市内)

② 未成年者の飲酒・喫煙防止活動の促進

当協会のホームページに喫煙と健康の問題に関する情報を掲載し、未成年者の喫煙防止活動の一層の充実を図った。

③ 有害情報から青少年を守る活動の推進

北海道や学校関係者、情報通信企業などで構成する北海道青少年有害情報対策実行委員会に参加し、インターネットや携帯電話の利用による有害情報から青少年を守るための啓発活動を行った。

(5) 「北海道青少年のための200冊」の選定・推奨

青少年に優良図書情報を提供して読書を普及させるため、北海道学校図書館協会、北海道読書推進運動協議会の協力を得て、「北海道青少年のための200冊」を選定し、図書目録や啓発ポスターを作成して、全道の幼稚園や学校、図書館など関係機関に配付するとともに、ホームページに掲載するなど、良書の情報提供に努めた。

本事業は、出版社47社に協賛をいただいて運営することができた。

(配付部数) ・令和5年度図書目録及び新選図書目録 各10,000部

・200冊啓発ポスター 3,000部

なお、「200冊」は、北海道学校図書館協会及び毎日新聞社が主催する読書感想画中央コンクールの対象図書として紹介された。

(6) 青少年育成関係団体懇談会の開催

困難を抱える子ども・若者を支援する活動の現状や課題についての話題提供、青少年育成関係団体・機関等の活動報告を行い、相互の活動の連携協力や今後の取組の効果的な促進についての共通理解を深めた。

○ 開催日時 令和6年2月2日(金)

○ 開催方法 ハイブリット開催(会場・オンライン)

○ 参加団体 8団体・6機関

○ 内 容

・話題提供

話題: 「闇バイトをはじめとする少年非行の現状と対策」

説明: 北海道警察本部生活安全部少年課

課長補佐 成田 剛 氏

・活動報告と意見交換、情報提供



▲各団体からの
活動報告や情報交換

(7) 広報啓発活動の推進

青少年育成運動への理解と関心を高めるため、機関誌やポスターなどの配布やホームページ等を活用した広報活動を行った。

- ・協会の事業報告や関係機関等の活動状況などを掲載する機関誌「育む」を年2回発行した。
(配付部数) 1,700部(各回)
- ・「道民家庭の日」絵画コンクール入賞作品12点を掲載した2024年カレンダーを作成し、市町村、学校、関係機関団体等に配付した。(配付部数) 4,000部
- ・協会が実施する大会や研修会など行事の予告や実施結果、各種助成金や絵画コンクール作品募集等の情報、出版物の電子版の掲載などについて、ホームページやSNS(LINE)を活用して、幅広い層への情報発信に努めた。



▲機関誌「育む」の発行

○ 講演録集の作成・配付

青少年育成についての理解を深めるため、北海道青少年育成大会や他の基調講演の内容を取りまとめた講演録集「次代を見つめて'23」を発行し、市町村・推進指導員・関係機関等に配付した。(配付部数) 700部

掲載内容

- ・北海道青少年育成大会の基調講演
- ・令和4年度子供・若者育成支援のための地域連携推進事業／中央研修大会
演題：「どうしても頑張れない若者への支援」サマリー
講師：立命館大学産業社会学部・大学院人間科学研究科教授 宮口 幸治 氏

○ 講師派遣の実施

市町村や育成団体等の要請を受けて研修会に専門指導員を派遣し、地域での課題等に係る講演を行い、課題解決に向けた取組の理解を深めた。

(派遣回数：6回／総参加者249名)

派遣先

- ・札幌市拓北・あいの里地区青少年育成委員会研修会
(札幌市／参加者21名)
- ・札幌市新発寒地区青少年育成委員会研修会
(札幌市／参加者60名)
- ・後志管内青少年育成運動推進指導員協議会研修会
(蘭越町／参加者12名)
- ・旭川市青少年補導員及び警察補導員合同研修会
(旭川市／参加者110名)
- ・空知青少年育成推進指導員会研修会
(岩見沢市・オンライン／参加者26名)
- ・浦幌町社会教育委員の会議
(浦幌町／参加者20名)



▲講師派遣での講演の様様
(旭川市)

3 青少年の主体的な社会参加・体験活動の促進

青少年が健やかに成長し自立した社会人になるよう、青少年の地域での実践活動を支援し、青少年の社会参加・体験活動を促進した。

(1) 北海道青少年基金事業の推進

青少年の主体的社会参加による地域づくりや社会貢献活動等の推進を図るため、「北海道青少年基金」を造成し、その運用益を活用して青少年団体等の活動を支援した。

① 基金の造成

道職員や各関係団体への協力要請、新成人記念募金、施設や運用益交付事業実施時の募金箱

の設置依頼、当協会実施行事等で募金の呼び掛けを行った。

令和5年度の基金造成実績 募金実績額：89万2,045円

基金累計額：3億3,920万3,663円

② 運用益交付等事業

ア 助成事業

青少年団体・グループや青少年育成団体等が行う文化・スポーツ活動や交流・体験活動などに対して、助成金を交付した。

令和5年度交付団体数 33団体 (交付総額 237万5,000円)

イ 顕彰事業

他の範となる優良青少年、団体を顕彰した。

令和5年度受賞団体 一般社団法人 どさんこ青少年オーケストラ協会
(札幌市)

(2) 北海道青年活動元気づくりプロジェクト事業の推進

地域の青年が地域づくりに主体的に参画し、その活動を通して地域活動の担い手として成長することをめざす「北海道青年活動元気づくりプロジェクト」事業を実施し青年団体等が行う活動に交付金を交付し、活動の推進を図った。

令和5年度交付団体数 4団体 (交付総額 55万4,624円)

交付青年団体グループ名・事業名

○ 団体名：特定非営利活動法人 E-LINK

事業名：なまらツナガル！トカイナカプロジェクト

内 容：創成東地区でお寺や商店などの協力を得て「秋まつり」や「雪あかり」などを開催。子どもや子育て世代と地域住民・事業者が交流し、“トカイナカ”なコミュニケーションが生まれ、地域の活性化につながった。



▲地域交流・市街地活性化を進める活動

○ 団体名：特定非営利活動法人 ezo rock

事業名：Hokkaido Youth Sessions GREEN DAY

内 容：2日間で多種多様なテーマでの12分科会を設けたフォーラムを開催し、社会問題への気づきを促し、ネットワーク作りのきっかけ作りとなった。

○ 団体名： Climate Change Action

事業名：気候変動をもっと身近に感じよう

内 容：「気候変動」をテーマに、高・大学生を対象にフィールドワークを行い、森が果たす役割を学び、実体験をする大切さを学んだ。

○ 団体名：新冠町青年団体連絡会議

事業名：にいかっぷふるさと盆踊り2023

内 容：町内の子どもからお年寄りが参加し、盆踊りをはじめ、縁日や様々な企画により、町民が楽しく元気になる催しが行われ、町の活性化につながった。

4 国や中央団体等との連携

関係機関・団体の事業を共催により実施するとともに、関係団体の事業に協力した。

(1) 表彰・顕彰事業への協力

① 国（こども家庭庁）の表彰

学童保育やフリースクールを中心にこどもの健全育成活動が認められ、特定非営利活動法人E-LINK（イーリンク・札幌市）が、第1回「こどもの未来をつくる こどもまんなかアワード」の「内閣府特命担当大臣表彰」を受賞した。



② 全国青少年育成県民会議連合会の表彰

長年の青少年育成活動が認められ、青少年育成運動推進指導員だった佐藤 英道氏（大樹町）が「青少年指導者等顕彰」を受賞した。



③ 北海道の表彰

防災ボランティア活動などを通して地域づくりに貢献する優れた活動が認められ、北海道高校生ネットワークBLOSSOM（ブロッサム・札幌市）が「北海道青少年顕彰」を受賞した。



(2) 読書を普及する活動への協力

北海道学校図書館協会及び毎日新聞社が主催する青少年読書感想文全道コンクール・北海道指定図書読書感想文コンクールに「協会長賞（2名）」を出賞し、青少年の読書の普及活動を支援した。